

## H F 帯デュアルバンドツェップアンテナ MODEL CZ-2A (7,21MHz)

このたびは、7/21MHz帯デュアルバンドツェップアンテナを御買い上げ頂きまして誠に有難うございます。本品は厳重なる品質管理により生産されておりますが、万一運送中などの事故により破損等がありましたら、取扱店にお申し付けください。

### 安全にお使いいただくために！

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。  
この取扱説明書は必要なときにご覧になれるように、大切に保管しておいてください。

### 特長

7MHz帯短縮型1/2λアンテナと21MHz帯フルサイズ型1/2λアンテナとを一本のアンテナの端から給電するアンテナです。給電部がアンテナ端のためアンテナ線に同軸ケーブルの重さがかからず、そのため比較的低い張力でアンテナ線を張ることができます。アンテナ線にビニール被覆高張力繊維入り編組線を使用していますので軽く、柔軟性に富み、曲げに強く、耐候性に優れています。

### 組み立てる前に！

☆梱包袋を開けたら取扱説明書のパーツリストにより、各部品の数量を確認してください。

### 組立方法

- ローディングコイル (ZL-1) とアンテナ線 (A), (B) を図1のように挿入し、お手持ちのドライバーで4箇所ネジ止めします。  
ZL-1 についているネジをゆるめ、固定してください。(注) アンテナ線 (A) は両側に端子がありますが、アンテナ線 (B) は片側のみに端子が付いています。
- 図2のようにローディングコイル (ZL-1) に調整用ヒゲをネジ止めします。  
この時、調整用ヒゲは必ずアンテナ線 (A) 側になるようにしてください。

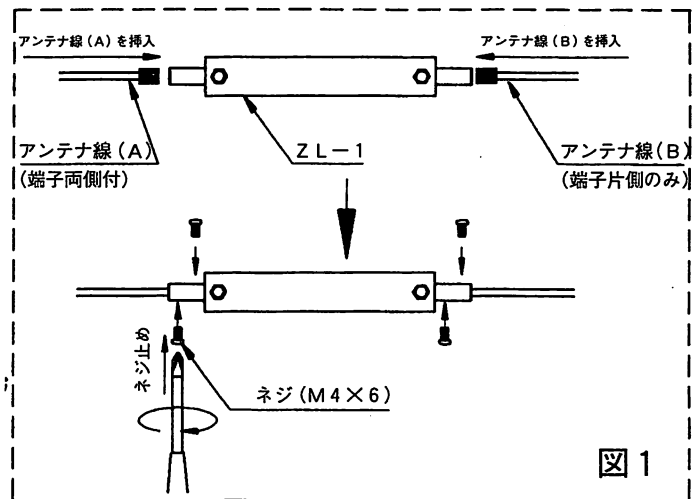


図1

### パーツリスト

番号	部品名	数量
1	給電部	1
2	ローディングコイル (ZL-1)	1
3	アンテナ線 (A) (6.8 m) <small>両側端子付</small>	1
4	アンテナ線 (B) (6.8 m) <small>片側のみ端子付</small>	1
5	調整用ヒゲ (70 cm)	1
6	ナイロンロープ (5 m)	2
7	碍子	2
8	自己融着テープ (20 cm)	1
9	六角レンチ	1
10	ワイヤークランプ (ビス付)	2

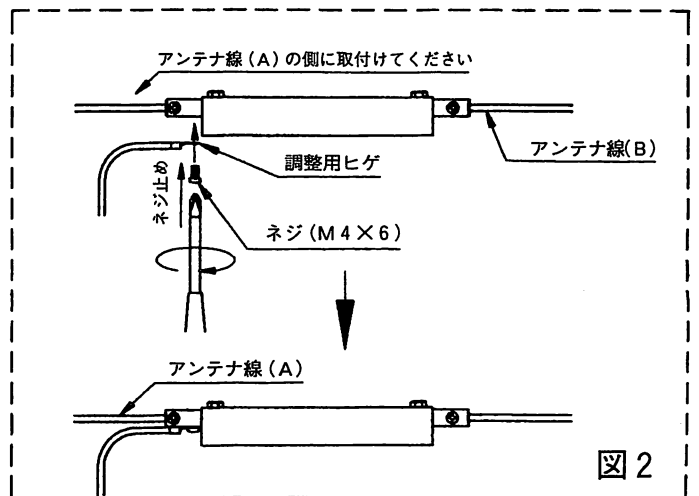
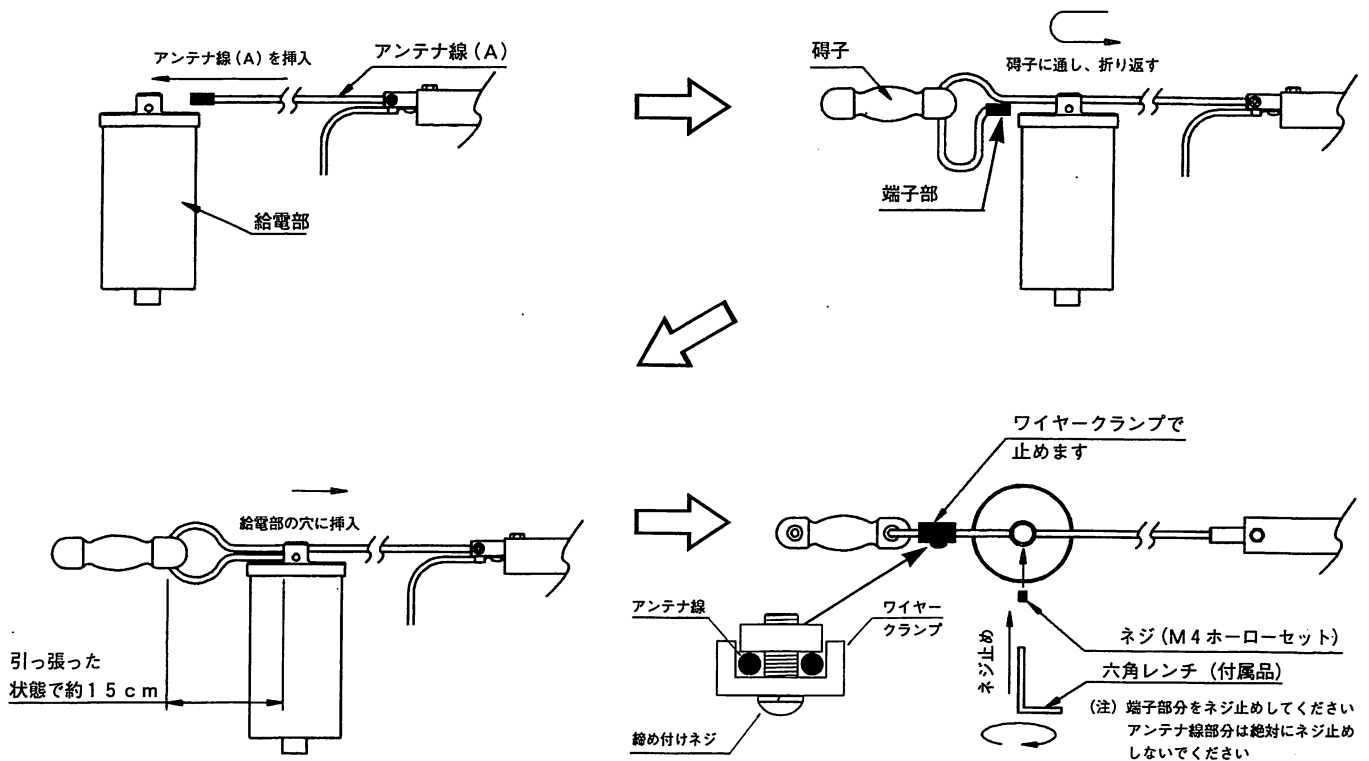


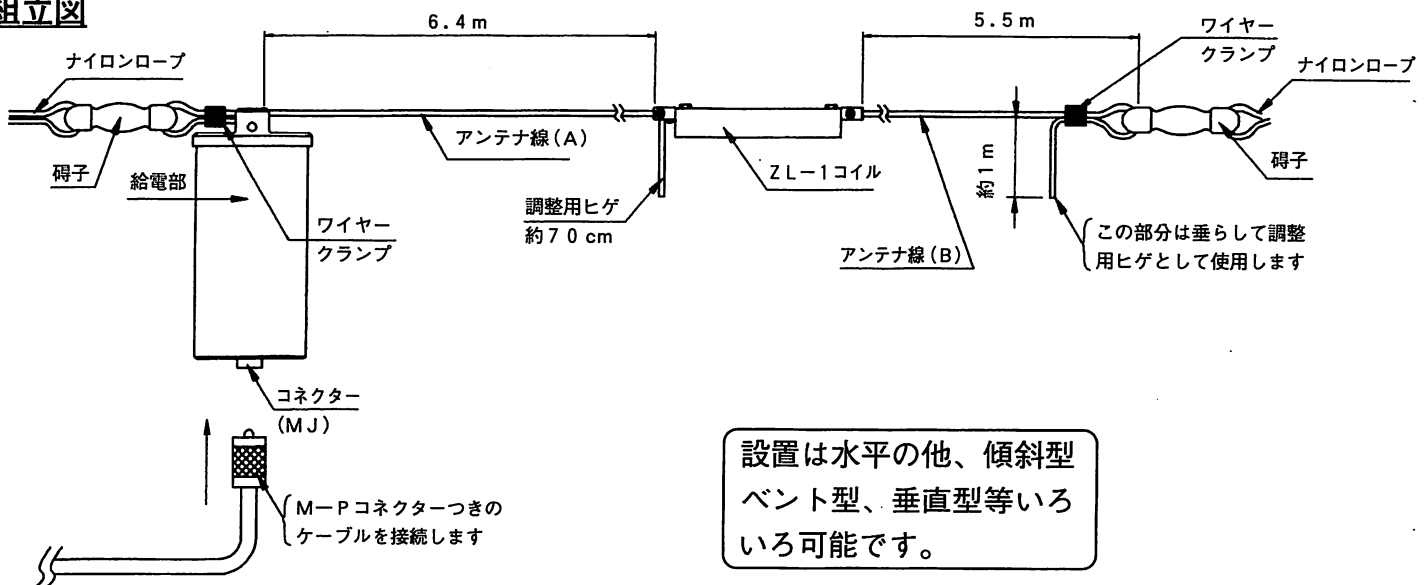
図2

3. アンテナ線 (A) に給電部を取付けます。下図のようにアンテナ線 (A) を給電部の上側穴に通し、更に磚子の穴に通し、折り返して給電部の下側穴に通します。その後、M4 ホーローセットビスを付属の六角レンチでアンテナ線末端の端子部分をネジ止めします。次に磚子の近くでアンテナ線を付属のワイヤークランプで下図のようにはさみ込んで止めてください。



4. 下の組立図のようにアンテナ線 (B) を磚子に通し、1 m 程余し、ワイヤークランプでアンテナ線 (B) をしっかりと止めます。その後両方の磚子にナイロンロープを通し、両方のナイロンロープの端をポール、タワーなどしっかりした構造物に結びます。この時アンテナ線は並行している電線などの障害物から十分離れた位置になる様な場所を選んでください。最後にロープを引っ張って十分張力に耐えることを確認してください。最終設置時は、多少たるみがあるように張ってください。

### 組立図



### 防水について

給電部の底にあいている穴は、水抜き穴ですので、ふさがらないでご使用ください。

又、コネクタを上向きに設置しないでください。

コネクタを取付けた後、コネクタ部に付属の自己融着テープを2倍の長さに伸ばして巻き、その上からビニールテープを巻いて防水処理をしてください。

## ⚠ 作業上の注意点

- 屋根上や高所作業の際は複数の人で行い、落下事故やケガの防止のため、安全帽、安全帯を必ず使用してください。
- アンテナの性能を十分発揮させるため、周囲に障害物などないところに、設置してください。
- 高圧線のそばに設置しないでください。大変危険です。
- ベランダ等に設置する場合、お子様などが送信中簡単にアンテナエレメントなどに触れることがないように、十分注意をしてください。

## 調整方法

調整前にもう一度この取扱説明書の組立図と照らし合わせて、組立に間違いのないことをご確認ください。最終的に使用する状態にアンテナを張ってから調整に入ってください。

特にアンテナ線(A)、(B)の付け違いがあったり、調整用ヒゲの取付位置が違ってきますと十分に性能が発揮されません。又、低いところで調整した後、アンテナを高く上げると同調周波数が高く変化しますので、高さなど変更のときはその都度再調整してください。

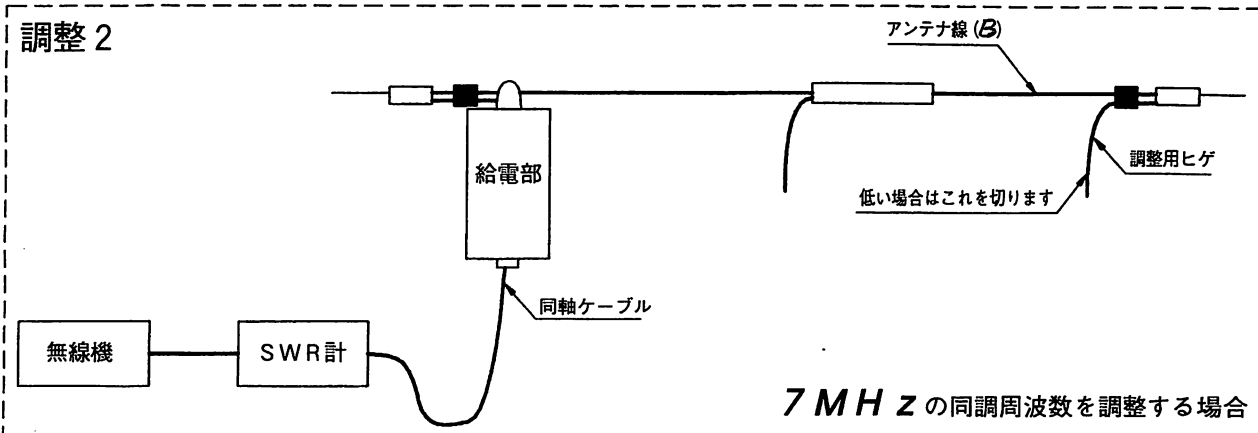
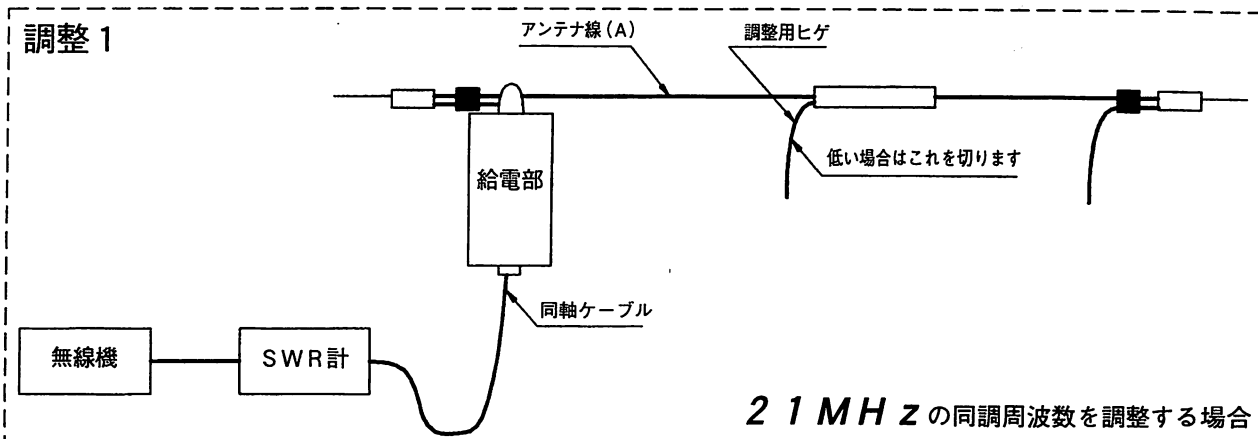
(注) 調整時は極力、SWRを測定できる最小電力で行ってください。

(注) 調整順を7MHz帯から始めると、21MHz帯調整時に7MHz帯の $f_0$ が変化してしまいます。

1. 無線機とアンテナの間にSWR計を挿入し(下図参照)、21MHz帯のVSWRを測ります。
2. 低い方に同調していたときは、調整用ヒゲの長さを切り詰めます。  
3cm切ると約40kHz高い方に移動します。調整用ヒゲは一度に多くの量を切らないで、少しずつ切り詰めてください。
3. 21MHz帯が目的の周波数に同調しましたら、7MHz帯のVSWRを測ります。
4. 低い方に同調していたときはアンテナ線(B)の先端の調整用ヒゲを切り詰めます。  
10cm切ると約30kHz高い方に移動します。調整用ヒゲは一度に多くの量を切らないで、少しずつ切り詰めてください。

(注) 最初から高い方に共振点があるときは、アンテナ線の長さ等を再チェックしてください。

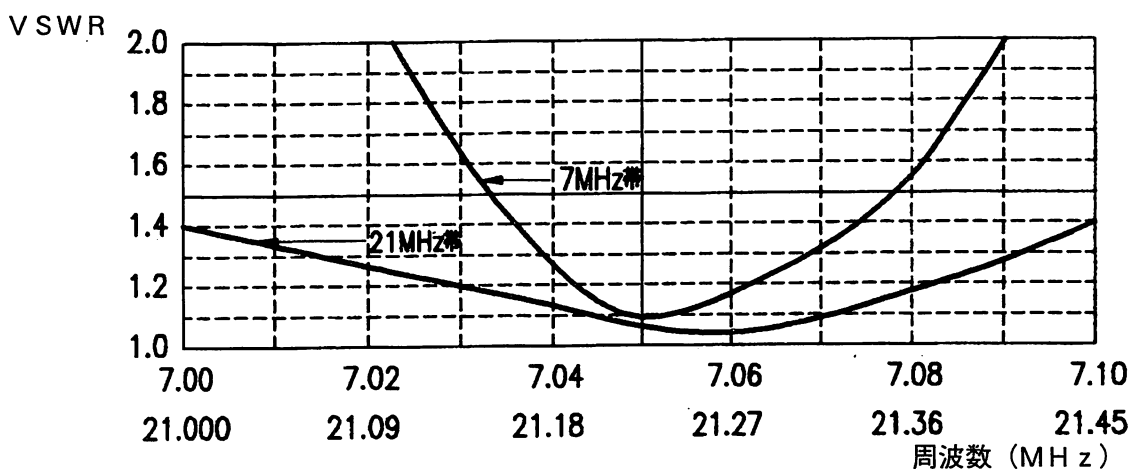
(注) アンテナ線に障害物等が近いとき、地上高が低いときはハムバンドの低い方、又はそれ以下に共振してしまったり、SWRが悪化することがあります。



## 定格

周波数帯	7,21MHz帯
入力インピーダンス	50Ω
耐入力	600W(A3J)
VSWR(共振周波数にて)	1.5以下
全長(調整前)	約12.5m
重量	約1.6kg
利得(公称値)	2.15dBi

## VSWR特性例



### ⚠ ご使用上の注意点

- 使用中に、異常と思われる現象が発生したときには、直ちに使用を停止し、原因を確認してください。原因が見つからなかった場合には、販売店又は、弊社までご相談ください。
- 規格、仕様以上の使用はしないでください。発熱やアンテナをこわす原因になります。
- 製品は、高性能を発揮するように設計され、厳重な品質管理のもとに生産されておりますので、むやみに改造を行うと性能低下の原因となります。
- 雷が発生したときは、アンテナやケーブルには絶対に触れないでください。外出するときなどは、機器類から同軸ケーブルをはずしてください。
- アンテナは、雷によってこわれる場合がありますから、雷通過後にはSWRをチェックしてください。

### ☆点検とお手入れ

アンテナのSWRは、運用時にチェックして、正常に動作していることを確認してお使いください。取り付けネジ等は、ときどきチェックしてゆるんでいるときは、増し締めをしてください。

### ☆アフターサービス

各部品の破損、長期間のご使用による劣化交換などのために補充部品を用意しております。お買い求めの販売店などにお申し付けください。組立方法、その他技術的なご質問は弊社技術部までお問い合わせください。

## コメット株式会社

〒336-0026 埼玉県浦和市辻4-18-2  
TEL 048-839-3131(代) FAX 048-839-3136  
URL <http://www.comet-ant.co.jp>

性能向上のため予告なく外観、仕様を変更することがあります。